



自好協  
主学力

# 松ヶ枝

瀬戸内町立古仁屋中学校だより No.3  
令和2年6月23日 発行

## その日は必ずやってくる

校長 竹ノ山 誠忠 しげただ

「(甲子園での交流試合が決まって)嬉しいという気持ちが一番です。目の前の一試合で自分たちの戦いが出来るように、これから日々努力して頑張っていきたいです。」

(城西高校野球部 古市主将の言葉)

6月14日、各部活動では、練習試合や島内の中学校に限定した小規模の大会が開催されました。生徒の皆さんは、練習の成果を発揮できる嬉しさと満足感で満ちあふれていたことだろうと思います。競技によっては、この後も地区総体に替わる最後に位置づけられるような大会が計画されているということで、特に三年生にとっては区切りが付けられて本当によかったと思います。各連盟や顧問の先生方に心より感謝いたします。保護者の皆様には、もうしばらくお世話になりますが、ご支援とご協力をお願いいたします。

ところで、地区総体中止を伝えた日、多くの部活生が落胆し涙を流していたと聞きました。階段で擦れ違い様、「何のために…」と唇を噛んでいた生徒にかける言葉を見つけることができませんでした。そのとき、ふとタイトルの言葉が浮かびました。一昨年前にあった九州総体のある競技の閉会式で開催県の会長が選手に対して、「これからも、皆さんが目標にしている日、その日は必ず来ます。それまでの時間をどう過ごすかが大事なのです。」と話されたそうです。今回、目標にしていたその日は来なかったのでしょうか、いや中止という形でその日は来たということでしょうか。誰も想像できなかったことで、やり場のない悔しさや悲しみにどう向き合うのか心配した翌日、体育館からバレー部のいつも以上に大きな歌声が聞こえてきて、どの部も一生懸命練習に取り組んでいました。大事なことは何なのか、しっかりとわかっている。心がたくましく成長していると改めて感じました。

何くそ負けてたまるか。ストグレ魂だ!

三年生は、部活動を引退する日はもう間もなくです。一日一日を大切に、そして真剣に取り組んでもらいたいと思います。これからもその日は必ずやってきます。

※ 今週は期末テスト、勉強にもストグレ魂を発揮してほしい。健闘を祈る!



## 部活動の練習試合再開



6月13日(土)から練習試合ができるようになりました。久しぶりの練習試合に、笑顔の中にファイトあふれるプレイが続出しました。3年生の引退の時期は、それぞれの部活動により異なりますが、完全燃焼めざし頑張してほしいと思います。

## ボランティアによる読み聞かせ



6月17日(水)朝読書の時間に6人のボランティアの方が、読み聞かせに来てハンセン病に関する図書を読んでもくださいました。ボランティアの方からは、「皆さんが真剣に聞いてくださって嬉しかった」「真剣なまなざしに緊張しました」などの感想をいただきました。お忙しい中ありがとうございました。

次の日は、各担任が読み聞かせを行いました。「教員生活十数年たちましたが初めての経験で生徒の顔を見る余裕がありませんでした」と答えた担任もいました。

## 郷土の自然に関する講話

18日(木)に奄美博物館の平城達哉氏を招き、郷土の自然に関する講話をしていただきました。世界には、おおよそ175万種もの生物がいる、まだ発見されていない種類もたくさんある。そんな中、奄美にしかない生物もいる。そんな奄美を大切にしたい。しかし課題も多い。自然をめあてにやってくる観光客、マングースや野猫、盗掘などがあげられる。休み時間には、たくさんの生徒が、貴重な動物の剥製に触れ大騒ぎでした。

奄美の貴重な生き物たち、アマミノクロウサギ・オーストンオオアカゲラ・ケナガネズミ・ハブ

・アマミトゲネズミ

・ルリカケス・オオ

トラツグミ・アカヒ

ゲ・アマミヤマシギ

・アマミイシカワガ

エル・オットンガ

エル・アマミハナサキ

ガエル・イボイモリ

など、まだまだ貴重

な生き物が生息して

いる奄美大島、大切

にしていこうという

気持ちが更に強くな

ったようです。



## 7月行事予定

- 2日(木) スクールカウンセラー来校  
13:30~16:30
- 3日(金) 授業参観、学年・学級PTA  
奨学金に関する説明会  
学校保健委員会
- 7日(火) 3年生性に関する講話
- 11日(土) クラスマッチ(バレーボール)
- 17日(金) 3年生校外体験学習
- 20日(月) 1学期終業式
- 21日(火) 三者面談開始  
(3年生全員、1・2年生希望者)